



2025年2月21日

各位

会 社 名 ONE GROUP 株式会社
(コード番号 6168 TOKYO PRO Market)
代 表 者 名 代表取締役社長 田中 文彦
問 合 せ 先 経営企画室長 山川 晋
電 話 番 号 06-6787-1818
U R L <https://www.igroup.co.jp/>

特別利益（保険解約返戻金）の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社連結子会社である株式会社セイエンにおきまして、2025年6月期（2024年7月1日～2025年6月30日）において、特別利益（保険解約返戻金）を計上することとなりました。

また、当社が2025年2月4日に公表しました2025年6月期（2024年7月1日～2025年6月30日）の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 特別利益（保険解約益）の計上

当社の連結子会社である株式会社セイエンにおける生命保険を財務体質強化及びキャッシュ・フローの向上の観点から解約し、保険解約返戻金として40,115千円を特別利益に計上することとなりました。

2. 2025年6月期の通期連結業績予想数値の修正（2024年7月1日～2025年6月30日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	6,739	24	13	36	47.26
今回修正予想（B）	6,780	77	66	131	168.30
増減額（B－A）	40	52	53	95	121.04
増減率（％）	0.6	209.1	405.2	263.8	
（参考）前期実績 （2024年6月期）	6,673	△178	△185	146	188.45

2. 修正の理由

当社グループでは、2025年2月4日に通期連結業績予想の修正（本開示最終頁「参考資料」ご参照）を行っておりましたが、その後、「1. 特別利益（保険解約益）の計上」の通り当社連結子会社において特別利益の計上が発生すること、また2025年6月期の当社グループの業績進捗状況（2025年7月～2026年1月）を踏まえて、改めて、2月以降の通期連結業績予想の修正（以下「今回修正開示」といいます。）を実施いたしました。

当社グループにおける連結業績予想数値が、2025年2月4日開示「通期業績予想の修正に関するお知らせ」（以下「前回修正開示」といいます。）から再び修正する理由は以下の通りとなります。

（1）前回修正開示に至った経緯

当社グループにおきましては、2025年6月中間期決算作業を開始するにあたり、各連結子会社に対して、当社下半期（2025年1月1日～2025年6月30日）における売上高及び各段階利益の見通し額の作成を指示しておりました。指示を踏まえた各社は、2025年11月から仕入先における値上げ等の情報収集、また、顧客における生産計画や発注に関するフォーキャストや内示情報の確認を行いながら、2024年12月から2025年1月にかけて、顧客別・製品別の受注計画、生産計画、在庫計画から売上計画へと算出をしておりました。また、生産計画にもとづき変動費（主に材料費や外注加工費）の計画、また、人員計画及び設備投資計画、電力費及び消耗品費などの見通し等から製造固定費を算出し、それら変動費予想及び製造固定費予想から予想製造原価明細書の作成、また、売上計画においては製品別原価あるいは製品別限界利益の積み上げを行い在庫変動の見通しを加算したうえで、売上総利益額の算出をしておりました。販売費及び一般管理費については、費用対象となる各部門から科目別費用見込み額を集計したうえで営業利益額を算出し、それに営業外損益及び特別損益、さらに法人税等を加味した各段階利益の算出を行い、2025年6月中間期決算作業と並行して前回修正開示を行いました。また、その時点において見通しの根拠となる内容は2025年2月4日に開示しております「通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の通りとなっております。本開示最終頁「参考資料」をご参照ください。

（2）今回修正開示に至った経緯

「1. 特別利益（保険解約益）の計上」の通り当社連結子会社において特別利益の計上が発生することに伴い連結月次決算の数値が上回る状況となる中、2025年1月度月次決算における各社数値が想定を上回っていることから、改めて、各社の事業環境の変化についてヒヤリングを実施いたしました。その結果、1月下旬頃から主要顧客への値上

げ要請に対する受け入れが進み、1月度月次決算に反映ができたこと、また、主要顧客からの受注が急回復し、前回の想定を上回る生産の見通しが立ったことなどから、売上高、営業利益及び経常利益につきましては、いずれも前回発表の予想を上回る見込みとなりました。

加えて、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、特別利益の計上により当初予想を上回る見込みとなり、今回、通期連結業績予想の修正について、再び修正することといたしました。

3. 業績等の予想に関する注意事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や状況の変化により、実際に生じる結果が予想内容とは実質的に異なる可能性があります。当社は将来予想に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

(参考資料 2025年2月4日 「通期業績予想の修正に関するお知らせ」 開示内容)

2025年2月4日に開示しております「通期業績予想の修正に関するお知らせ」の概要は以下の通りとなっております。

1. 2025年6月期の連結業績予想数値の修正 (2024年7月1日～2025年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 7,235	百万円 174	百万円 153	百万円 169	円 銭 217.66
今回修正予想 (B)	6,739	24	13	36	47.26
増減額 (B - A)	△496	△149	△140	△133	△169.90
増減率 (%)	△6.9	△85.7	△91.4	△78.7	—
(参考) 前期実績 (2024年6月期)	6,673	△178	△185	146	188.45

2. 業績予想の修正の理由

当社グループが属する金属加工業界、特に工作機械業界については、2024年の年間受注額(速報値)が前年比0.2%減となり、2年連続の減少となるなか、2024年後半から回復が期待された自動車や半導体関連の設備投資も伸び悩む結果となりました。

日本工作機械工業会が発表した2024年12月の工作機械受注額(速報値)は、国内外を合わせた受注総額で前年同月比11.2%増の1,412億円となりましたが、自動車業界におきましては、一部メーカーにおける自動車認証試験不正問題による生産減少や中国市場での不振により、先行き不透明な厳しい状況が続いております。日本自動車販売協会連合会が発表した2024年12月の国内新車販売台数は、前年同月比9.3%減の21万746台となり2024年1月から12月の累計値についても前年同期比マイナス5.6%と低迷する結果となりました。

このような状況の下、当社グループは、労務費、原材料価格、エネルギーコストの上昇を販売価格に転嫁するための活動を継続すると同時に、金属加工研究所の技術者による技術営業を展開することで新たなニーズの掘り起こしと新規顧客の開拓を進めております。また、製造活動においては、当社グループの生産活動の効率化に向けた活動を当社が中心となり取り組みを進めてまいりましたが、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想を下回る見込みとなったため、通期業績予想を修正することといたしました。

以上